

芝生の害虫対策の決定版！

1ℓ入

芝生用殺虫剤

ダイアジノン[®] SLゾル

ダイアジノンマイクロカプセル剤



芝のケラにも
使えます！！



シバオサゾウムシ



コガネムシ類

それはマイクロカプセルの
おかげです。

薬剤がカプセルに包まれて、画期的に長い期間安定した防除効果を発揮。そのため手間いらず。しかも、薬剤に直接触れずすむので、取扱いがマイクロカプセルだからこそ、優れた持続効果。

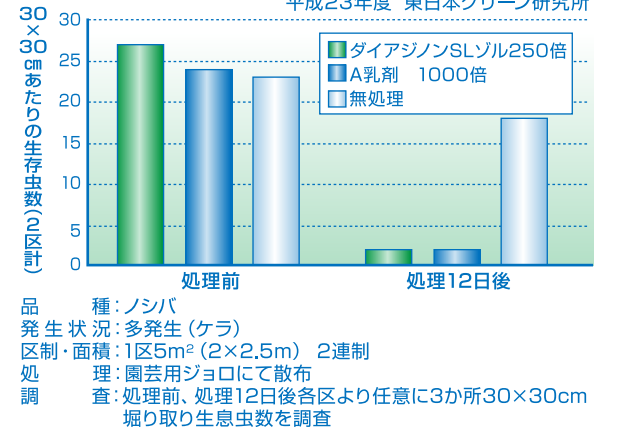
ダイアジノン SLゾル

【種類】：ダイアジノンマイクロカプセル剤
 【成分と含有量】：ダイアジノン……………25.0%
 【化学名】：(2-イソプロピル-4-メチルピリミジル-6)-ジエチルチオホスフェート
 【性状】：類白色水溶性粘稠懸濁液体 比重/1.03 pH/7~9
 【毒性】：普通物* (普通物とは毒劇物に該当しないものを指している総称)

ダイアジノンSLゾルの特長

芝のケラに対する効果

- 1 害虫の生態にあった剤型**
 ケラは地表近くに50~100cmのトンネルを一晚で掘り、芝の根や昆虫の死骸などを食べて生活するため、製剤と接触したケラの活動によってマイクロカプセルが破碎されて効果が発揮されます。コガネムシ幼虫も土壌有機物と一緒に製剤が消化器官に取り込まれてはじめて効果が発揮されます。
- 2 効果が長期間持続する**
 カプセル内の有効成分は安定なため効果が長期間持続します。特に土壌処理された場合に製剤は数ヶ月安定です。
- 3 安全性が高い**
 マイクロカプセル製剤は哺乳動物の体内ではほとんど破碎、吸収されないため安全性が高く普通物*扱いです。散布作業にも安心してお使いいただけます。
- 4 薬剤臭が少ない**
 マイクロカプセル化することにより薬剤臭が抑えられております。また、水ベースの製剤なので有機溶媒の臭いがしません。散布作業時に周囲への影響も少なく済みます。



ケラの防除には成虫・幼虫が活動する6・7月のとくに雨上がりの夕方生息孔を中心に散布処理するとより効果的です。

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
芝	シバツガ、スジキリトウシバオサゾウムシ成虫	1000	0.3ℓ/m ²	発生初期	4回以内	散布	4回以内
	ケラ		1ℓ/m ²				
	シバオサゾウムシ幼虫 コガネムシ類幼虫	250	0.7~1ℓ/m ²	コアリング時(目土前)		土壌注入	
	コガネムシ類幼虫	25	0.1ℓ/m ²	張り芝前		散布	
さくら	アメリカシロヒトリ	1000	200~700ℓ/10a	発生初期	1回	散布	2回以内
つつじ類	コガネムシ類幼虫	25~50	100ℓ/10a	植付時	1回	全面土壌混和	4回以内
ひのき・すぎ(苗畑)		100	200~400ℓ/10a	植付前			
樹木類		16g/培土m ³	400~2000mℓ/培土m ³	鉢上げ時又は鉢代え時			

- ### ⚠ 使用上の注意事項
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。
 - 貯蔵中に沈殿を生ずることがあるので、使用直前に容器をよく振って使用すること。
 - 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ所定量の範囲内で調節すること。
 - 本剤の散布薬液は希釈調製後できるだけ速やかに使用すること。希釈調製後に静置しておいた場合は、散布前に十分攪拌すること。
 - コガネムシ類幼虫、シバオサゾウムシ幼虫に対して土壌注入処理をする場合には、農薬を高圧噴射できるインジェクターを使用すること。
 - コガネムシ類幼虫に対して散布処理をする場合には、コアリング時の目土前に処理すること。
 - 樹木類の培土に処理する場合には、培土中に薬液が十分行き渡るように所定量の範囲内で使用液量を調整し、培土とよく混和すること。
 - ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ② 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めること。
 - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
 - 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けさせること。
 - 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤がある。
 - 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
 - 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
 - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
 - 公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
 - 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用すること。
 - 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
 - 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。
 - 低温時は保管場所に十分注意し、凍結を避けること。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

この印刷物は平成26年8月の登録内容に準拠して作成しました。